

衆議院財務金融委員会ニュース

H25.5.22 第183回国会第10号

5月22日(水)、第10回の委員会が開かれました。

1 金融商品取引法等の一部を改正する法律案(内閣提出第59号)

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 一般社団法人全国銀行協会会長	國 部 毅 君
日本証券業協会会長	前 哲 夫君
一般社団法人日本投資顧問業協会会長	岩 間 陽一郎君

(質疑者及び主な質疑内容)

小林 鷹之君(自民)

- ・証券会社が関与した公募増資インサイダー取引事案の再発を防止するためには証券業界による自主規制の取組が不可欠であるが、今後の取組の具体的内容及び取組に向けた決意について前参考人に伺いたい。
- ・5%ルールの見直しにより、銀行による資金供給が活発化し経済成長に資する可能性がある反面、銀行経営の健全性に懸念を生じさせる可能性があるが、5%ルール見直しの意義及び効果に対する國部参考人の見解を伺いたい。
- ・投資顧問業界は、海外への投資を積極的に進めるとともに海外の資金を取り込んで運用していく取組が必要であると考えるが、岩間参考人の見解を伺いたい。

安住 淳君(民主)

- ・5%ルールの見直しを、各銀行が活用しやすいようマニュアルを整備する必要があると考えるが、國部参考人の見解を伺いたい。併せて、中小企業金融円滑化法終了後の中小企業の事業再生支援に係る銀行の取組について見解を伺いたい。
- ・公募増資インサイダー取引事案により失墜した証券業界に対する信頼を回復することが、我が国において投資が活発化する上でも重要であるが、信頼回復に向けた具体的な取組について前参考人に伺いたい。
- ・A I J 事案により失墜した投資顧問業界に対する信頼を回復するためには、業界全体での再発防止に向けた取組が不可欠であるとするが、岩間参考人の見解を伺いたい。

西野 弘一君(維新)

- ・我が国経済の再生に当たり、銀行の5%ルール見直し以外に必要な規制改革について國部参考人の見解を伺いたい。併せて、中小企業金融円滑化法が我が国経済に与えた影響及び同法終了に伴い銀行に求められる取組について見解を

伺いたい。

- ・証券会社が関与した公募増資インサイダー取引事案を踏まえ、日本証券業協会は証券会社に対し情報管理体制の自主点検を要請しているが、点検により発見した問題点及び問題点に対する改善指導の有無について前参考人に伺いたい。
- ・A I J 事案を踏まえた本改正案による罰則強化について、投資顧問業界の信頼回復のために、それ以上に厳しい罰則でも甘受するという覚悟を業界自身が示す必要があると考えるが、岩間参考人の見解を伺いたい。

上田 勇君(公明)

- ・5%ルールの見直しに伴い、銀行におけるリスク管理の在り方として、通常の融資と資本性資金を区分管理する必要があるのではないかと思うが、國部参考人の見解を伺いたい。
- ・インサイダー取引規制について、違法な情報伝達・取引推奨行為に該当するための主観的要件は、実務的な立場から見てもわかりやすく、経済活動を過度に萎縮させる懸念のないものであるか、前参考人の見解を伺いたい。
- ・A I J 事案は、当初から犯罪目的でなされた特殊な事件ではないかと考えるが、このような事件に対して、本改正案等による再発防止策は有効であるか、岩間参考人の見解を伺いたい。

小池 政就君(みんな)

- ・日本証券業協会及び日本投資顧問業協会では、自主ルール策定に当たって、海外の事例の確認や、我が国との制度比較などを行っているか。
- ・金融機関の秩序ある処理の枠組みに関する措置では、債務超過でない金融機関等が、措置を講ずる必要がある旨の認定を受けるケースが考えられているが、一般に、債務超過でない企業がこのような認定を受けることがマーケットに与える影響について、國部参考人の見解を伺いたい。

- ・銀行の5%ルール見直しでは、ベンチャービジネス会社に対する出資も拡充されているが、ベンチャービジネスに対する銀行の出資をさらに促進するために必要な規制緩和には何が考えられるか、國部参考人の見解を伺いたい。

鈴木 克昌君 (生活)

- ・國部参考人は、5月16日の会長会見で、銀行が、5%ルールの見直しを利用して株式を保有するケースが増加しているのではないかと趣旨の発言をしているが、株式保有に伴うリスクがある中、本当に利用増となるのか、改めて見解を伺いたい。
- ・A I J 事案が発覚してから1年以上が経過したが、これまでに振り返り、再発防止のためにどのような取組をしてきたか、岩間参考人に伺いたい。

- ・証券会社のモラルに関する意識改革、倫理観の向上について、業界全体の問題としてどのように取り組んでいくつもりなのか、前参考人に伺いたい。

佐々木 憲昭君 (共産)

- ・3大メガバンクの本年3月期の中小企業向け貸出比率は、2005年以降で最低の数字である。いわゆるアベノミクスで大胆な金融緩和が行われているはずだが、なぜ中小企業に資金が流れないのか、國部参考人に伺いたい。
- ・昨年、課徴金等の処分を受けた公募増資インサイダー取引事案が特定の証券会社に集中している原因について、前参考人はどのように捉えているか。
- ・昨年12月以降の株価上昇局面にあって、海外の投資家が買い越しているのに対し、国内の投資家は売り越しているのはなぜか、その要因について前参考人に伺いたい。